

都内初出展の自治体も登場！“市町村”限定アンテナブース 2017年度出展 19自治体を発表！

2年目プロジェクト“生きたふるさと体験”施設として、
方言アナウンス・方言バッジ・お客様バイヤー制度を導入

株式会社まるごとにつぽん(東京都墨田区、取締役社長:小笠原功)は、真の地方創生を目指す商業施設「まるごとにつぽん」内3階、「【Event space】おすすめふるさと」にて、4月1日からブース出展する19自治体を決定しました。また、まるごとにつぽん2年目プロジェクトとして、より“生きたふるさと体験”をしてもらうための3つの新たな取り組みをはじめます。



【Event space】おすすめふるさと

■2017年度から出展する、全国津々浦々の19自治体

4月1日から大小さまざまな自治体が集結し一丸となって、切磋琢磨しながら各地域の魅力を発信し、現地への誘客を目指している、館内3階「【Event space】おすすめふるさと」に、以下19自治体がブース出展します。自治体の入れ替えは2015年12月の開業以来、初めての試みとなります。

19自治体のうち、6自治体が都内にアンテナショップを構えるのが初めてで、13自治体が昨年に引き続き、今年度もブース出展をします。

都内初	ほっかいどう 幌加内町 北海道 幌加内町	そばの生産量日本一。道立自然公園の朱鞠内湖は北欧に似た景色でファンが多い。最寒気温-42.2度の記録を持つ。
まるごとにつぽん 継続	ほっかいどう たかすちょう 北海道 鷹栖町	北海道の中央に位置し、盆地状の肥沃な土地は、道内屈指のお米の産地。まるごとにつぽんではトマトジュース「オオカミの桃」が人気。
まるごとにつぽん 継続	みやぎけん おながわちょう 宮城県 女川町	牡鹿半島の女川町は、牡蠣・海鞘・帆立が自慢。震災被害から復興を目指し、活気を取り戻しつつある。
まるごとにつぽん 継続	いばらきけん ちくせいし 茨城県 筑西市	筑波山の裾野に広がる県内有数の米どころ。梨やこだますいかなどが特産品。浅草からつくばエクスプレスで最短84分。
まるごとにつぽん 継続	とちぎけん あしかがし 栃木県 足利市	史跡足利学校や鏝阿寺をはじめ、あしかがフラワーパークなどの観光名所が数多い。浅草から特急列車で70分。第一回カレエグランプリ優勝。
まるごとにつぽん 継続	しずおかけん はままつし 静岡県 浜松市	世界的な企業が誕生したものづくりのまちである一方、豊富な日照量の恩恵によって多様な農作物や鰻を筆頭とする水産物も豊富なまち。
まるごとにつぽん 継続	あいちけん とよはしし ひがしみかわ 愛知県 豊橋市・東三河	旧東海道の宿場町として栄え、豊かな自然と温暖な気候により農水産物が豊富。豊橋筆や手筒花火が有名。
まるごとにつぽん 継続	ひょうごけん やぶし 兵庫県 養父市	兵庫の尾根氷ノ山に抱かれ、大自然を体感できる。まるごとにつぽんでは、朝倉山椒を使った「山椒ジェノベーゼ」が人気。
まるごとにつぽん 継続	ひょうごけん ひめじし はりまけんいま 兵庫県 姫路市・播磨圏域	「姫路城」のある播磨地域は日本有数の酒どころ。播磨ブランドを育成、発信中。

都内初	ひょうごけん あわじしま 兵庫県 淡路島 あわじし すもとし みなみあわじし (淡路市・洲本市・南あわじ市)	平成 28 年に「国生みの島・淡路」が日本遺産に認定。歴史と豊かな特産品が自慢。
都内初	びんごけんいま 備後圏域 ひろしまけんふくやまし (広島県福山市)	海と山に囲まれ、ロケ地としても有名な「鞆の浦」や日本三選星名所「美星」が有名。
まるごとにつぼん 継続	ひろしまけん くれし 広島県 呉市	瀬戸内の風光明媚な景観が広がり、海山の幸が豊富。戦艦「大和」のふるさと。戦艦によって味が違う「軍艦カレー」の食べ比べも楽しめる。
まるごとにつぼん 継続	やまぐちけん はぎし 山口県 萩市	維新胎動の地の萩市。明治日本の産業革命遺産の萩城下町や松下村塾などの名所や萩焼のお買い物を楽しめます。
まるごとにつぼん 継続	こうちけん こうちし 高知県 高知市	300 年以上続く日曜市やよさこい祭りが有名。日本有数の酒どころ。夏には県外から多くの観光客がリフティングを楽しみに来る。
都内初	えひめけん いかたちょう 愛媛県 伊方町	四国最西端の佐田岬半島に位置し、美しい自然で育った柑橘類、岬あじなどが特産。1 階では同町から出展した蜂蜜店「完熟屋」がある。
都内初	きたきゅうしゅうとしけんいま 北九州都市圏域	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」が有名。山海の幸の宝庫で B 級グルメも豊富
まるごとにつぼん 継続	ふくおかけん やながわし 福岡県 柳川市	「宝くじ入れ神棚」は全国的に有名。苺のあまおうとハバナロを合体させた調味料「アマネロ」を販売したり、個性的な商品開発が得意。
まるごとにつぼん 継続	くまもとけん きくちし 熊本県 菊池市	阿蘇外輪山の北西に位置し、平安時代から 450 年栄えた菊池一族の城下町
都内初	ながさきけん いきのしま 長崎県 壱岐島	海・山の幸が豊富な実りの島。神社が 1,000 社以上あるとされ神々の住む島と称される

■シテプロモーションにも化学反応がある、まるごとにつぼんならでは出展

今年度は、19 自治体のうち 13 自治体が昨年に引き続きの出展となりました。出展をきっかけに、テストマーケティングからヒット商品が誕生、館内での販路開拓成功、浅草とふるさとのお祭りのコラボレーション実現など、まるごとにつぼんならではの特徴が活かした効果がありました。今年度も、各自治体の課題に合わせて、多様な館内施策メニューで、継続的な支援を行い、来館者が各自治体に興味や愛着を持つきっかけとなる機会を創出し、実際にその地に足を運んでもらうことを目指してサポートしていきます。

■新自治体が仲間に加わった 2 年目！より“ふるさとらしさ”を感じられる施設を目指します

開業から 2 年目を迎えるまるごとにつぼんでは、他商業施設との差別化のため、より“ふるさとらしさ”を感じられる商業施設を目指し、3 つのことを取り組んでいきます。

1、「まるごとにつぼんさ、よぐきてけだなあ〜」山形弁などの方言館内アナウンス

館内アナウンスを 5 種類の方言バージョンでお届けします。地方出身の館内スタッフが収録を行い、関西弁、山形弁、秋田弁、津軽弁、三河弁で 1 日 1 回放送します。



収録をする関西弁担当の 1 階「蔵」日本酒バイヤーの藤生

2、出身地を表記したスタッフバッジ「みんなのふるさとバッジ」

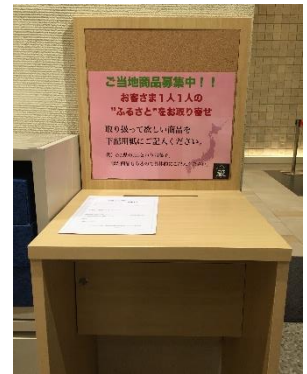
館内店頭スタッフは、開業に合わせ約半数の方が全国津々浦々から移住してきました。コミュニケーションツールの一つとして、出身地を明記したバッジを着用し、お客様との会話のきっかけを作ります。



ふるさとバッジを着用するスタッフ

3、ご当地グルメ 2500 種以上を扱う「蔵」のお客様バイヤー制度

お客様一人ひとりにある“ふるさと”を東京・浅草でも感じてもらうために、まるごとにつぼんで取り扱ってほしいご当地グルメを募集します。要望があった商品の中からバイヤーが事業社に問い合わせ、商談が成立次第販売を開始します。



設置されているアンケートボックス

■「【Event space】おすすめふるさと」出展のメリットと運営概要

1、出展のメリット:特産品の認知度向上、販路拡大など多様な館内施策展開が可能

「【Event space】おすすめふるさと」は、“真の地方創生を目指す”まるごとにつぼんのコンセプトを表現する最も重要なゾーンです。来館者が各自治体に興味や愛着を持つきっかけとなる機会を創出し、実際にその地に足を運んでもらうことを最終目標としています。特産品の認知度向上、販路拡大、消費者ニーズの把握、観光認知度の向上、地方情報の発信など、各自治体の課題に合わせて、多様な館内施策メニューで、継続的な支援を行います。

料理教室とカフェで食の魅力をPR可能

地方の食を食べて・見て味わえるカフェ「【Cafe】^{エム エヌ}M/N」では、市町村とコラボレーションした特別ご当地メニューの提供が可能です。

また、料理教室「【Cooking studio】おいしいのつくりかた」では、郷土料理の体験教室の開催や特産品を使ったメニュー講座の開催など、地方ならではの食文化を体感してもらうための機会創出が可能です。



「【Cooking studio】おいしいのつくりかた」講座イメージ

コンシェルジュが、ふるさと納税をサポート

また、株式会社さとふるが運営する「ふるさと納税コンシェルジュ」では、日本初となる常設窓口でコンシェルジュがふるさと納税について、わかりやすくご紹介します。

(ふるさと納税コンシェルジュで市町村のふるさと納税を紹介するには、株式会社さとふるとの契約が必要です。)

館内のテナントで販路拡大が可能

少量多品種のご当地食品 2500 種以上を販売する 1 階「蔵」では、バイヤーとの商談の上、特産品の販路拡大が可能です。その他、各店舗でも、商談の上、館内全フロアを通しての新たな販路開拓が可能です。



まるごとにつぼん蔵

まるごとにつぼんが誘客・地方創生施策の支援

「【Event space】おすすめふるさと」の出展によって市町村の PR を行うことで、最終的には実際に市町村を訪れることを目的としています。今後は、誘客のためツアー企画やサービス企画など、まちとしての地方創生への取り組み全般に関する企画立案・実行も支援していきます。

物産展やワークショップ、ステージショーなどのイベント開催

年 1 回の 19 市町村合同イベントや、年 2 回の合同物産展、お祭りの展示や物産展、ご当地キャラクターのステージショーやワークショップなど、各種イベントを行うことで常設展示販売に加えて PR 活動を強化することも可能です。また、浅草六区での地元のお祭り練り歩きなど、多くの観光客が訪れる浅草の地での PR を支援します。

2、運営概要

施設運営側が 19 市町村のブースをまとめて運営・管理するため、従来のアンテナショップ開設に伴う初期費用や人件費が発生せず、約 10 分の 1 の費用でブース出展が可能です。1 年を通し四季折々の魅力発信ができるほか、他自治体との合同イベントの開催、販売に関するコンサルティングなど、これまで首都圏にアンテナショップを出展できなかった市町村のチャレンジをバックアップします。

アンテナショップとの比較	従来のアンテナショップ	まるごとにつぼん
初期費用	約 1～2 億円	なし
運営費	約 1000～3000 万円／年	約 400 万円／年

当社調べ

《「【Event space】おすすめふるさと」運営概要》

賃貸面積	1市町村当たり約 2.7 坪(9 m ² 、客用通路を含む縦×横 3m×3m のスペース) 高機能演出照明(スペースプレーヤー)と特製展示台 1 台 ※全体で約 130 坪、20 スペース
契約期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
契約条件	<ul style="list-style-type: none"> ・賃借料:固定賃料 25 万円(税別、ディスプレイ装飾費を含む) ・共益費:月額1万円/月(税別) ・年間販売促進負担金:100 万円(税別、全自治体合同イベントや年間PR・販促費を含む) ※標準的な内装、什器はまるごとにつぼんで用意します。 ※その他、市町村主催のイベント実施等は別途料金体系があります。

■まるごとにつぼんの施設概要

所在地 東京都台東区浅草 2 丁目 6 番地 7

運営 株式会社まるごとにつぼん

開業日 2015 年 12 月 17 日(木)

売場面積 約 3,732 m²(約 1,129 坪)

階数 地上 4 階

アクセス 電車 つくばエクスプレス「浅草」駅から徒歩1分、東武スカイツリーライン「浅草」駅から徒歩7分、東京メトロ銀座線「浅草」駅から徒歩8分、都営浅草線「浅草」駅から徒歩8分

駐車場 64 台(有料)

営業時間 1 階、2 階 食品、物販、カフェ、サービス、その他ショップ 10:00～20:00

3 階 サービス、その他 10:00～21:00

4 階 レストラン 11:00～23:00※店舗ごとに営業時間が異なります。

休業日 年中無休

ホームページ <http://marugotonippon.com/>



読者・視聴者からのお問い合わせ先 TEL:03-3845-0510